

2025年度 中国語 ペア部門

戯曲《终身大事》が発表された1919年、すでに清朝も滅び、中国も近代に突入していました。しかし、社会通念や人々のものの考え方は、なお伝統的な観念に縛られていきました。例えば、男女の恋愛や結婚も本人の自由というわけには行ず、何かと制約の多い世の中でした。

胡適(1892-1962)は近代中国を代表する思想家の1人で、極めて堅いイメージの人です。しかしこの戯曲を読むと、まだ30歳前であったということもあるのか、バリバリの自由恋愛論者として常識に挑戦しています。彼はこの戯曲を通じて、伝統に縛られた結婚の在り方がいかに滑稽であるかを世に示そうとしました。本年度は、その戯曲の1部分を課題文にしてみました。

田女士(田嬢/田亜梅)は昔からの友達の陳さんと結婚しようとしていますが、父親(田先生/田氏)・母親(田太太/田夫人)から大反対されます。ここでは主に父親の言い分、つまり田家と陳家は『論語』の時代から同姓と見なされてきたので結婚はできない、をめぐる諍いが書かれています。“伝統”を代表する年配者の田先生は大まじめに、娘の思慮のなさを諭しているのですが、若者を代表している田女士(田嬢)の目には全くの“謎理論”です。東アジアの近代化という大きな図式の話はさておいて、差し当たりはテンポの良い2人の応酬を楽しんでください。(1回だけ母親も登場しますが。)

胡适《终身大事——游戏的喜剧》

田先生 好孩子，你出洋长久了，竟把中国的风俗规矩全都忘了。你连祖宗定下的祠规都不记得了。

田女士 我同陈家结婚，犯了那一条祠规？

田先生 我拿给你看。(站起来从饭厅边进去)

田太太 我想不出什么。阿弥陀佛，这样也好，只要他不肯许就是了。

田女士 (低头细想，忽然抬头显出决心的神气) 我知道怎么办了。

胡適『お笑い喜劇 結婚騒動』

田氏 いいかい亜梅や、おまえは長いこと外国に行つとるうちに、中国の風俗習慣をすっかり忘れてしまったようだな。お前はご先祖さまがお取り決めになった祖廟の規定すら忘れちまつとる。

田嬢 私が陳家と結婚するのが、祖廟の規定の第何条に違反するっていうの？

田氏 ならば見せてやろう。(立ち上がり食堂に入っていく)

田夫人 あたくしは何だかさっぱりわからない。ナムアミダブツ。でもいいわ、あの人が反対してくれさえすればそれでいいわ。

田嬢 (俯いて考えこんでいる。突然、顔をあげ決心の色を現し) そうだわ、そうすれば良いのよ。

田先生 (捧着一大部族谱进来) 你瞧, 这是我们的族谱。(翻开书页, 乱堆在桌上) 你瞧, 我们田家两千五百年的祖宗, 可有一个姓田和姓陈的结亲?

田女士 为什么姓田的不能和姓陈的结婚呢?

田先生 因为中国的风俗不准同姓的结婚。

田女士 我们并不同姓。他家姓陈, 我家姓田。

田先生 我们是同姓的。中国古时的人把陈字和田字读成一样的音。我们的姓有时写作田字, 有时写作陈字, 其实是一样的。你小时候读过《论语》吗?

田女士 读过的, 不太记得了。

田氏 (大きな族譜を1冊かかえて登場) ごらん、これが我が家の族譜だ。(ページを開き、ドサッとテーブルに広げ) ごらん、我が田家代々2500年のご先祖さまのうち、1人だって田姓で陳姓の者と結婚した者がおるか?

田嬢 どうして田姓の者は陳姓の者と結婚できないの?

田氏 中国の習慣では同姓の結婚は許されんからだ。

田嬢 私たちべつに同姓じゃないわ。彼の家は陳だし、我家は田よ。

田氏 いや、同姓なのだ。中国古代の人間は、陳という字と田という字を同じ発音で読んでいた。われわれの姓は、田の字を書くこともあり、時には陳の字を書くこともあるが、実際は同じことなのだ。おまえは小さいころ『論語』を読んだことがあるだろ?

田嬢 あるわ、あんまりよく覚えていないけど。

- 青文字部分は、役名とセリフの補足の部分ですので、暗唱しなくて構いません。
- 訳文は、藤井省三(編)『笑いの共和国—中国ユーモア文学傑作選一』(白水社、1992年)に拠りました。日本語訳で17頁ほどの短編ですので、ぜひ全体も読んでみてください。なお、横書きに変えたため、漢数字を算用数字に変えた箇所があります。
- 『終身大事』原文の中国語原文を別紙(別ファイル)で示しておきます。訳本とあわせて参考にしてください。